

- Shock resistant construction
- EL backlighting/Auto EL backlighting
- 30 pages of Telememo
- 24 hours countdown timer
- 1/100sec. stopwatch
- Full auto calendar
- Alarm/Hourly time signal

CASIO

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。




⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

-  △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)
-  ⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)
-  ●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとし易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残して下さい。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで、暗く足元の不安定な場所で、歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やけがの原因となることがあります。

夜間、車両が通行する道路や路面の安全を確認できない走路などで、ランニングをしながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。交通事故、転倒の原因となることがあります。

夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

操作のしくみと表示の見方

①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

時刻・カレンダーモード

(曜日の見方)

SUN	: 日
MON	: 月
TUE	: 火
WED	: 水
THU	: 木
FRI	: 金
SAT	: 土

★オートライトON/OFF切替
時刻・カレンダーモードで②ボタンを1~2秒間押し続けるごとにオートライトON (AUTO 点灯) / OFFが切り替わります。
※「●時計を傾けて発光させる～自動発光 (オートライト)～」参照

タイマーモード

■デモ機能について
本機は工場出荷時に「デモ (デモンストラーション) 機能*」に設定してあります。(デモ表示では通常のボタン操作はできません)
*「デモ機能」とは時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

●デモ機能の解除…①ボタンを2~3秒間押しすと、デモ機能が解除されます。
●デモ機能にするには…解除時と同様に①ボタンを2~3秒間押し続けます。

※各モードで①~③いずれかのボタンを押した後に④ボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

テレメモモード

2秒後

アラームモード

ストップウォッチモード

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。なお、月に一度くらい「秒合わせ」をすると時刻はいつも正確です。

時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

③ボタンを1~2秒間押します

→「秒」が点滅します。

●「秒」合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて、
①ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。

※秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

●「時刻・カレンダー」合わせ

a. 点滅箇所を選ぶ

④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに点滅箇所が「秒→分→12/24時間制切替→年→月→日→秒…」の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、④ボタンでセットしたい箇所を選びます。

b. 点滅箇所のセット

①または②ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、②ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※①・②ボタンとも、押し続けると早く進み(戻り)ます。



上記 a~b の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。
※「12/24時間制切替」のときは、①ボタンを押すごとに12時間制表示 (12H) と24時間制表示 (24H) とが切り替わります。

★「時」のセットのとき午前/午後 (P) または24時間制にご注意ください。
★「年」は1995~2039年までセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(2) セットが終わりましたら、③ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

テレメモの使い方 時刻・カレンダーモードのときに[D]ボタンを1回押します。

テレメモは名前8文字と電話番号12桁を最大30件まで記憶できます。テレメモモードに切り替えると、前回テレメモモードで最後に見たデータを表示します。また、データを入力すると、名前順に並び替え(自動ソート*)が行なわれますので、データを探すときもたいへん便利です。

*自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は(スペース)、アルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(、.、/、:)です。

■テレメモデータの呼び出し

テレメモモードのとき、[A]または[B]ボタンを押します

- [A]ボタンを押すごとに名前順に進み、[B]ボタンを押すごとに逆方向に進みます。
※[A]・[B]ボタンとも、押し続けると早く進みます。

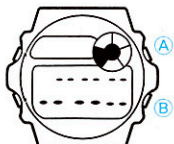


■データを入力(修正)する

(1) テレメモモードのとき、

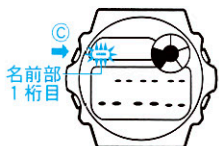
[A]または[B]ボタンを押して、空ページ(修正ページ)を表示させます

- ※データを1件も入力していないときは「NO-DATA」と表示されます。
※30件すべて入力してあるときは「FULL」と表示されます。このときは不要データを消去しておいてください。(「■データを消去する」参照)



(2) [C]ボタンを1~2秒間押します

- 名前部1桁目が点滅します。

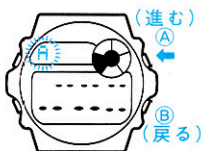


(3) 点滅箇所のセット

[A]または[B]ボタンを押します

- [A]ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が1つずつ進み、[B]ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

- ※[A]・[B]ボタンとも、押し続けると早く進み(戻り)ます。



(4) 点滅箇所を選ぶ

[D]ボタンを押します

- [D]ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目~8桁目→電話番号部1桁目~12桁目→名前部1桁目…」の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、[D]ボタンでセットしたい箇所を選びます。



(3)~(4)の操作を繰り返して、テレメモデータを入力(修正)します。

- ★名前部は最大8文字、電話番号部は最大12桁まで入力できます。
★入力できる文字は名前部セットのときは(スペース)、アルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(、.、/、:)で、電話番号部セットのときは、数字(0~9)、(スペース)です。

(5) セットが終わりしたら、[C]ボタンを押します

- 点滅が止まり、入力したデータを表示します。
※名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。
※続けてデータを入力したいときは、(1)~(5)の操作を繰り返し行ないます。
※入力したデータは名前順に並び替えられます。

■メモリー残り件数の確認

テレメモモードのとき[A]ボタンと[B]ボタンを同時に押すと、押ししている間、メモリー残り件数を表示します。



■データを消去する

- (1) [A]または[B]ボタンを押して消去したいデータを選びます。
(2) [C]ボタンを1~2秒間押します。
※名前部1桁目が点滅します。
(3) [A]・[B]ボタンを同時に押します。
※確認音が鳴り、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができます。
(4) 消去が終わりしたら、[C]ボタンを押します。

アラームの使い方 時刻・カレンダーモードのときに[D]ボタンを2回押してアラームモードにします。

本機には月・日・時・分をセットできるアラームが5本あります。セットした時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

(1) アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、[A]ボタンを押します

- [A]ボタンを押すごとにアラーム番号(1~5)、時報表示(SIG)が以下の順で切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。



アラーム番号



〈アラーム2表示〉

(2) [C]ボタンを1~2秒間押します

- アラーム時刻の「時」が点滅します。
※「■■■■」が点灯し、自動的にアラームONとなります。

アラームONマーク



(3) 点滅箇所を選ぶ

[D]ボタンを押します

- [D]ボタンを押すごとに点滅箇所が「時→分→月→日→時…」の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、[D]ボタンでセットしたい箇所を選びます。



(4) 点滅箇所のセット

[A]または[B]ボタンを押します

- [A]ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、[B]ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※[A]・[B]ボタンとも、押し続けると早く進み(戻り)ます。



(3)~(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

- ★「時」のセットのとき午前/午後(P)にご注意ください。
★基本時刻を24時間制にしているときはアラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。
★「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。
(毎日鳴らすとき→「時・分」のみセット
1ヶ月間毎日鳴らすとき→「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らすとき→「日・時・分」のみセット
指定日に鳴らすとき→「月・日・時・分」すべてセット)

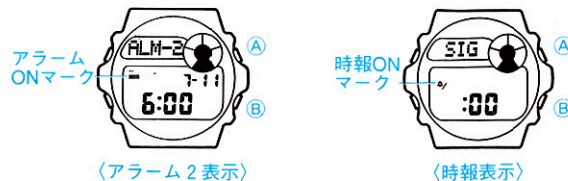
(5) セットが終わりしたら、[C]ボタンを押します

- 点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

■アラーム・時報のON/OFF設定

準備: アラームモードのとき[A]ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号の表示を選びます。また、時報のON/OFF設定をするときは時報表示を選びます。

- [B]ボタンを押すごとに、マークが点灯/不点灯します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。
※[C]ボタンを押してアラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラームONとなります。



■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。
※アラーム報音中に、オートライトがONになると音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのときに[A]ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

タイマーの使い方 時刻・カレンダーモードのときに④ボタンを4回押してタイマーモードにします。

タイマーは秒単位で最大24時間までセットでき、セットした時間を経過すると10秒間電子音が鳴ります。

■タイマーの使い方

タイマーモードのとき、

④ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

→減算計測は1/10秒単位で行ないます。

★計測ストップ後、③ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。

★減算計測中、④ボタンでストップ後、もう一度④ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。(ロスタイム計測)



■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間*電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

*オートリPEATタイマーでタイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

■タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

●リPEATタイマー (繰り返し計測)

タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するとき便利です。

●オートリPEATタイマー (自動繰り返し計測) <“AUTO”点灯>
タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

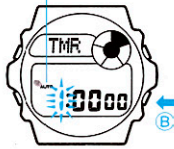
★タイマー方法の選び方

タイマー時間セット (点滅表示) のとき、

③ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに“AUTO”が点灯/不点灯を繰り返します。“AUTO”が不点灯のときはリPEATタイマー、“AUTO”が点灯しているときはオートリPEATタイマーとなります。

“AUTO”点灯



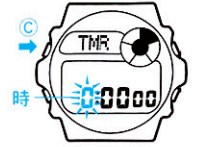
<オートリPEATタイマー>

■タイマー時間のセット

(1) タイマーモードのとき、

③ボタンを1~2秒間押します

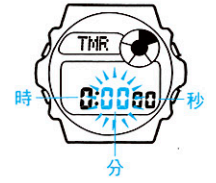
→タイマー時間の「時」が点滅します。
※タイマー時間は1秒単位でセットできます。



(2) セット箇所を選ぶ

④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに点滅箇所が「時→分→秒→時…」の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、④ボタンでセットしたい箇所を選びます。



(3) 点滅箇所のセット

④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1ずつ進みます。
※押し続けると早く進みます。
※表示が点滅しているときに③ボタンを押すとタイマー方法 (リPEATタイマー/オートリPEATタイマー) が選ばれます。
(「タイマー方法を選ぶ」参照)



<リPEATタイマー>

上記 (2)~(3) の操作を繰り返して、タイマー時間を合わせます。
※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0:00:00”にします。

(4) セットが終わりしたら、③ボタンを押します

※点滅表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。
※電子音報音中に、オートライトがONになると音が止まります。

ストップウォッチの使い方 時刻・カレンダーモードのときに④ボタンを3回押してストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99 (24時間計) まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

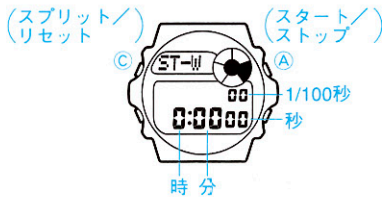
■計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

④ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

★計測中に③ボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。“SPLIT”点灯) もう一度③ボタンを押すとスプリットが解除されます。

*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。



●通常計測

④ → ④ → ③

スタート ストップ リセット

積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに④ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測 (途中経過時間計測)

④ → ③ → ④ → ④ → ③

スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

●1・2着同時計測

④ → ④ → ③ → ④ → ④ → ③

スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット (1着タイム表示)

製品仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
精度	平均月差±15秒以内
基本機能	時・分・秒・年・月・日・曜日、午前/午後 (P) /24時間制(24)表示、フルオートカレンダー(1995~2039年)
メモ機能	名前(8文字)と電話番号(12桁)を最大30件までメモリー自動ソート機能
アラーム機能	時刻アラーム5つ、セット単位=月・日・時・分 電子音=20秒間時報 毎正時に電子音で報時
タイマー機能	計測単位=1/10秒 セット単位=秒 タイムアップを10秒間の電子音で報知 計測機能=通常計測、ロスタイム計測、オートリPEAT計測
ストップウォッチ機能	計測単位=1/100秒 計測範囲=23時間59分59秒99 (24時間計) 計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
その他	自動復帰機能、モニターアラーム、12/24時間制表示切り替え、デモ機能、EL (エレクトロルミネッセンス) バックライト、オートEL
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子 ワンチップCMOS-LSI
使用電池	CR-2016 (電池別途販売)
電池寿命	約2年 (電子音20秒間/日、ライト6.5秒間 (ボタン押し1回+オートライ)ト2回) /日使用した場合) ※ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
	・1日あたり、ライト12.5秒間 (ボタン押し1回+オートライト5回) 使用のとき…約1.5年
	・1日あたり、ライト22.5秒間 (ボタン押し1回+オートライト10回) 使用のとき…約1年

表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾げるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

●ボタンを押して発光させる～手動発光～

時刻・カレンダーモード、ストップウォッチモード、タイマーモードのとき、

⑥ボタンを押します

→文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。

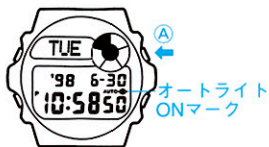
※ELパネル発光中に⑥ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。ただし、⑥ボタンを1～2分間押し続けるとその時点で発光が消えます。※オートライトのON/OFFにかかわらず、⑥ボタンを押すと発光します。

●時計を傾けて発光させる～自動発光（オートライト）～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で時刻やストップウォッチの計測値などを見るときに大変便利です。

準備 時刻・カレンダーモードのときに

- ④ボタンを約1～2秒間押し、
「AUTO」を点灯させて「オートライトON」にします。
※もう一度④ボタンを約1～2秒間押しすると「AUTO」が消え、「オートライトOFF」になります。



文字板を発光させる

① 時計を腕にはめ、水平にします

② 水平状態から、表示が見えるように約40°傾けます



※オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。

※このとき、文字板の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



<オートライトご使用時の注意>

●オートライトが作動するのは、「AUTO」を点灯させてから約2～3時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に「AUTO」が消え、オートライトOFFになります。

※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度④ボタンを約1～2秒間押し、
「AUTO」を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。これは異常ではありません。
●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約2秒間のみとなります。
●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振り回したり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときはOFFにしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると、発光しやすくなります。

<EL発光についての注意事項>

●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
●発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水=スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。
●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なバッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

バンド

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止ったりすることがあります。
●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気

●磁気の影響はありません。

薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れのしかた ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

●ステンレス鋼はサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」

●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」

●皮膚の弱い方や体調によりかぶれたりすることがあります。
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および損失等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てると、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくとき色が落ちることがあります。濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておく、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っているため故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。